

大阪科学技術センター 中堅・中小企業技術振興委員会主催
2023年度 第3回講演会 ～中小企業におけるDX・GX～

日時 2024年2月14日(水) 14時～17時(13時30分より受付開始)

場所 大阪科学技術センター 4階 404号室

大阪市西区靱本町1-8-4 <http://www.ostec.or.jp/access.html>

中小企業におけるDX・GXをテーマに、下記のとおり講演会をご案内いたします。

時節がら何かとご多忙のことと存じますが、ぜひ、ご参加ください。

中小企業の喫緊の課題への取り組みおよび高付加価値企業への成長の第一歩のための一助になれば幸いです。

◇開会挨拶

大阪科学技術センター 中堅中小企業技術振興委員会

委員長 立石 豊 (株式会社シンコーメタリコン 代表取締役)

◇ガイダンス<14:10-14:20>

「DXからGXへ。エネルギー消費も見える化！ムダをなくして儲かるGXへ」

辻野 一郎 氏 (DXパワー 代表/関西文化学術研究都市推進機構 コーディネーター)

◇発表<14:25-15:25>



1. 「内製による製造DXと段ボール保冷ボックスなどのGXの取り組み」

多田プラスチック工業株式会社 取締役 前田 匡史 氏

———— 休憩 10分 ————

<15:35-16:35>

2. 「大阪府における脱炭素の取り組みについて」

大阪府農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課

気候変動緩和・適応策推進グループ 主査 小穴 倫久 氏



◇まとめ

※次ページにサマリー掲載

定員 60名

参加費 2,000円/回 (OSTEC 非会員 5,000円/回)

※参加費は当日、受付にてお支払いください。領収書をお渡しいたします。

※お釣銭のないようご協力をお願いいたします。

= 講演のサマリー =

◇ガイダンス「DXでエネルギー消費も見える化！ムダをなくして儲かるGXへ」 <14:10-14:20>

辻野 一郎 氏 (DX パワー 代表
関西文化学術研究都市推進機構 コーディネーター)

DXに取り組む中小企業が増えてきています。DXに目覚めた企業は、電気などエネルギー消費もリアルタイムに把握できることに気づいています。現状がわかれば、個別のエネルギー消費節減、つまり、温室効果ガス排出削減の個別対策が見えてきます。こうしたアプローチで、効率化に取り組み、経費節減と、地球環境問題に熱心な企業イメージも獲得し、成長につなげる企業が現れ始めています！こうした事例と様々な取り組み方をわかりやすく解説します。

◇DX 事例発表

1. 「内製による製造DXと段ボール保冷ボックスなどのGXの取組み」 <14:25-15:25>

前田 匡史 氏 (多田プラスチック工業株式会社 取締役)

当社は射出成形、ウレタン成形、小型ポンプ開発を主な事業とし、これに対してDX/GXの取込みをしています。DXにおいては、ITシステムを内製し、生産現場と連携しながら、人系、設備系、生産管理、物流、品質の情報デジタル化や自動化などを推進しています。環境面においては、射出成形による生分解性プラスチックの製造に加え、ウレタン発泡を採用した段ボール保冷ボックスを開発しました。この保冷ボックスは、高性能な保冷性、優れた廃棄性、ドライアイス削減によるCO2削減などの特徴がある上、物流段階での輸送効率や倉庫保管効率の向上が期待できます。講演では、これらに取り組むきっかけや内容について紹介させていただきます。

2. 「大阪府における脱炭素の取組みについて」 <15:35-16:35>

小穴 倫久 氏 (大阪府環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課
気候変動緩和・適応策推進グループ 主査)

大阪府では「大阪府地球温暖化対策実行計画」を策定し、2030年度の府域の温室効果ガス排出量を2013年度比で40%削減することを目的として脱炭素に関する様々な取組みを推進しています。

本講演会では、「大阪府地球温暖化対策実行計画」の概要を紹介するとともに、計画に基づき府が実施している様々な取組みを紹介いたします。

お申込み・お問い合わせは、こちら ⇒ ostec-ttk@ostec.or.jp

お申し込みは、氏名・所属・役職・メールアドレスをお知らせください。

= 本件の担当者 =

一般財団法人大阪科学技術センター 技術振興部 東、中山、森山

電話 06-6443-5320 / FAX 06-6443-5319